

長野県建設業の上位 30 社 総売上高は 6196 億円、 2000 年度以降で最高

増収企業は 21 社、4 年ぶりに角藤がトップ

長野県・建設業売上高ランキング〈2025 年度・速報〉



本件照会先

中澤 敏哉(調査担当)
帝国データバンク
長野支店
026-232-1288

発表日

2026/05/28

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年度の長野県内建設業売上高ランキング集計における上位 30 社の総売上高は 6196 億 3600 万円となり、前年度を 10.7% 上回った。2022 年度から 4 年連続で増加し、調査を開始した 2000 年度以降で最高水準を更新した。翌期への繰り越し工事は豊富であり、今後も増加傾向は続くことが予想される。長野県建設業売上高1位は、2026 年 2 月期に年売上高 951 億 6800 万円を計上した(株)角藤(長野市)で、4 年ぶりのトップになった。売上高上位 30 社のうち、増収となった企業は 21 社、減収は 9 社。伸び率が最も大きかったのは(株)内田鉄工所(須坂市)の 134.6% 増。

※帝国データバンク長野支店では 2000 年度以降、長野県建設業売上高ランキング(上位 30 社)を作成している

今回 2025 年度に到来した各社の決算(2025 年 4 月期～2026 年 3 月期)を対象とした売上高ランキングを集計した

※5 月 20 日現在で判明したデータに基づく、各社単体の数字

※3 月決算で株主総会が終了していない企業の数字は決算案

※売上高は百万円未満切り捨て

上位 30 社の総額は 6196 億 3600 万円、2000 年度以降で最高

2025年度決算(2025年4月期～2026年3月期)を対象とした長野県建設業売上高上位30社の売上総額は6196億3600万円。前期からの繰り越し工事が豊富であったことから、前年度を600億4000万円、率にして10.7%上回り、2022年度から4年連続で増加した。

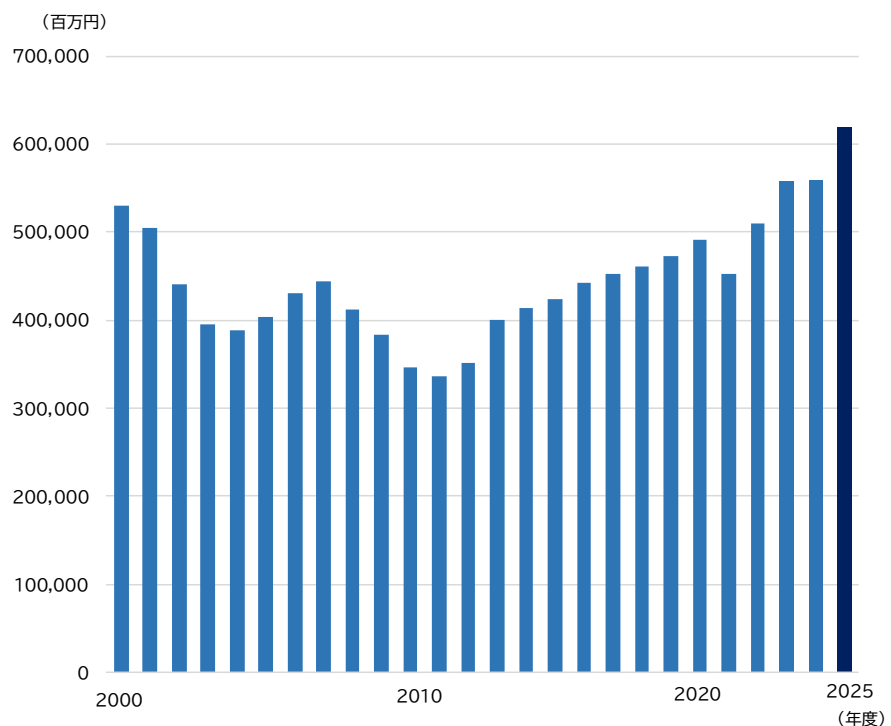
調査開始以降の推移を見ると、2000年度の5307億8400万円から2001～2004年度、2008～2011年度はそれぞれ4年連続で前年度を割り込み、2011年度には3363億2100万円まで低下していた。その後は景気対策が強化され、建設市場が徐々に拡大。国土強靱化計画の推進、さらに東京五輪開催に向けた準備を含む首都圏(大都市圏)の再開発なども加わり、国内の建設需要は比較的安定的に推移した。進行基準の大手企業を除き、大半が基本的に完工時に計上される建設業者の売上高は完工物件が多いと増加し、期をまたぐ工事が多いと減少する。そのため、増減を繰り返すことは珍しくないが、2020年以降は新型コロナウイルス感染拡大による営業機会の喪失、原材料価格の高騰や調達難から工事の先送り・工期の延長などといった形で深刻な影響が及んだ。また、東京オリンピック開催に伴う首都圏の工事中断も重なり、2021年度は減少となった。しかし、2022年度は一転、新型コロナウイルスの影響緩和により、資材の高騰は続いたものの、調達難は解消に向かい、人流の回復や消費増加を見込んで延期や凍結されていた設備投資が再開され、大口工事の完工が増えたため、2023年度以降は、最高売上を更新し続けている。伸び率は2022年度の12.7%に比べ、2023年度は9.3%、2024年度は0.3%と鈍化していたが、前期からの繰り越し工事が豊富であった2025年度は10.7%と再び伸び率が高まった。

長野県建設業売上高上位30社の売上高総額推移

上位30社の売上高総額と伸び率

年度	売上高総額 (百万円)	伸び率 (%)
2000	530,784	-
2001	504,327	▲5.0
2002	440,581	▲12.6
2003	396,238	▲10.1
2004	389,424	▲1.7
2005	404,538	3.9
2006	430,970	6.5
2007	443,616	2.9
2008	411,910	▲7.1
2009	384,211	▲6.7
2010	346,222	▲9.9
2011	336,321	▲2.9
2012	351,557	4.5
2013	401,020	14.1
2014	413,686	3.2
2015	423,667	2.4
2016	442,555	4.5
2017	452,375	2.2
2018	461,790	2.1
2019	473,315	2.5
2020	491,530	3.8
2021	453,083	▲7.8
2022	510,549	12.7
2023	557,814	9.3
2024	559,596	0.3
2025	619,636	10.7

売上高総額の推移



角藤が4年ぶり売上高トップ、売上高200億円以上は9社

2025年度の県内建設業売上高1位は、(株)角藤(長野市)。数期前から完成基準で進行していた長期に亘る大型工事の完工が大きく寄与したことによって、2026年1月期は951億6800万円と前期比53.8%の増収となった。同社は、2019年度から2021年度まで3年連続で1位だったが、4年ぶりにトップに返り咲いた。2位は、北野建設(株)(長野市)。労働者不足や労務費の上昇、原材料価格の高騰、為替変動、同業他社との受注競争の激化などの影響を受けたことなどから、前期比2.7%の減収になった。同社は2018年度まで19年連続してトップ、2019年度以降は3年連続2位であったが、2022年度から2024年度まで3年連続での1位となっていた。3位は、受注及び工事の進捗が順調だったものの、前期からの繰り越しが少なかったことなどが原因で土木工事が減少した(株)守谷商会(長野市)が0.2%減ったものの、3年連続の3位となった。以下、4位(株)ヤマウラ(駒ヶ根市)、5位綿半ソリューションズ(株)(飯田市)、6位(株)TOSYS(長野市)、7位ルートイン開発(株)(上田市)、8位セキスイハイム信越(株)(松本市)、9位積水ハウス建設上信越(株)(千曲市)と続いた。前期と比べ順位の入替わりはあったが、9位までの顔ぶれは変わらなかった。この9社が売上高200億円以上(前年度は8社)となった。また、順位は変動したものの、上位30社中27社は前回と同じ顔ぶれで、3社が新たにランクインした。

地区別は「北信」、

業種別は「一般土木建築工事」が、社数・売上高ともにトップ

30社を4地区別にすると、「北信」12社(構成比40.0%)、「南信」が7社(同23.3%)、「中信」6社(同20.0%)、「東信」5社(同16.7%)と、前年から「東信」が1社増え、「中信」は1社減った。地区別売上高では、「北信」が3438億9700万円と前年から12.7%増え、構成比で55.5%と前年から1.0pt増え、過半数を占めた。次いで「南信」(1370億3600万円、同22.1%)が続いた。

また、業種(産業分類コード)別では「一般土木建築工事」が15社(構成比50.0%)と半数を占めた。ほかには、「建築工事」、「木造建築工事」、「鉄骨工事」の各3社(同10.0%)。「その他工事」6社の内訳は、『電気通信工事』2社、『金属屋根工事』、『一般管工事』、『舗装工事』、『内装工事』各1社であった。業種別売上高は、「一般土木建築工事」が3075億5400万円(同49.6%)とほぼ半数を占めた。

長野県建設業売上高上位30社の地区別内訳

地区	社数	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)
北信	12	40.0	343,897	55.5
東信	5	16.7	61,799	10.0
中信	6	20.0	76,904	12.4
南信	7	23.3	137,036	22.1
合計	30	100.0	619,636	100.0

※小数点第2位以下を四捨五入しているため100%にならない場合がある

長野県建設業売上高上位 30 社の業種別内訳

業種	社数	構成比(%)	売上高(百万円)	構成比(%)
一般土木建築工事	15	50.0	307,554	49.6
建築工事	3	10.0	58,802	9.5
木造建築工事	3	10.0	28,070	4.5
鉄骨工事	3	10.0	111,229	18.0
その他工事	6	20.0	113,981	18.4
合計	30	100.0	619,636	100.0

※小数点第2位以下を四捨五入しているため100%にならない場合がある

増収企業 21 社、減収企業 9 社 増収企業が 15 年連続上回る

増収となったのは 21 社(構成比 70.0%)、減収は9社(同 30.0%)。増収企業は前年度(17 社)から 4 社増え、減収企業は前年度(12社)から 3 社減った。増収企業が減収企業を上回るのは 15 年連続である。

増収 21 社のうち、10%以上増収したのは 14 社。前年度(11 社)から 3 社増加している。伸び率が最も大きかった(株)内田鉄工所(須坂市)は、2024 年8月に完成した新工場が期を通じて稼働し、前期からの繰越物件のほか、期中に受注した大口案件を随時完工したことで、2025 年 10 月期は前期比 134.6%増となる年売上高 80 億 6000 万円を計上した。2 位は、大型の系統用蓄電池・太陽光発電装置設置工事を複数抱え、順次完工に繋げた(株)野村屋ホールディングス(上田市)が前期から114.2%の増収。3 位は飯島建設(株)(長野市)で、JVにより2年程度手がけてきた大型物件が完成引き渡しとなったことによる売上貢献が大きく、前期比 77.5%の増収になった。

増収・減収企業数の年度別推移

年度	増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比
2000	13	43.3	16	53.3
2001	10	33.3	20	66.7
2002	8	26.7	22	73.3
2003	5	16.7	24	80.0
2004	16	53.3	14	46.7
2005	17	56.7	13	43.3
2006	24	80.0	6	20.0
2007	18	60.0	12	40.0
2008	10	33.3	20	66.7
2009	10	33.3	20	66.7
2010	10	33.3	20	66.7
2011	17	56.7	13	43.3
2012	21	70.0	9	30.0

年度	増収		減収	
	社数	構成比	社数	構成比
2013	29	96.7	1	3.3
2014	17	56.7	13	43.3
2015	18	60.0	12	40.0
2016	19	63.3	11	36.7
2017	17	56.7	13	43.3
2018	17	58.6	12	41.4
2019	22	73.3	8	26.7
2020	17	56.7	13	43.3
2021	19	63.3	10	33.3
2022	21	75.0	7	25.0
2023	21	70.0	9	30.0
2024	17	56.7	12	40.0
2025	21	70.0	9	30.0

長野県建設業売上高ランキング〈2025年度・速報〉上位30社

順位	前年度 順位	社名	所在地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率 (%)
1	2	(株)角藤	長野市	1	95,168	53.8
2	1	北野建設(株)	長野市	3	75,552	▲ 2.7
3	3	(株)守谷商会	長野市	3	48,024	▲ 0.2
4	5	(株)ヤマウラ	駒ヶ根市	3	39,004	18.4
5	4	綿半ソリューションズ(株)	飯田市	3	37,634	12.2
6	7	(株)TOSYS	長野市	3	31,980	7.1
7	6	ルートイン開発(株)	上田市	3	26,800	▲ 13.5
8	8	セキスイハイム信越(株)	松本市	3	26,220	2.5
9	9	積水ハウス建設上信越(株)	千曲市	1	20,451	7.9
10	12	吉川建設(株)	飯田市	5	15,586	14.4
11	11	神稲建設(株)	飯田市	6	15,010	5.1
12	13	(株)岡谷組	岡谷市	5	13,293	9.8
13	10	(株)マナテック	長野市	9	12,469	▲ 16.2
14	18	ワールド開発工業(株)	長野市	12	12,305	34.6
15	14	ミサワホーム甲信(株)	松本市	3	12,131	3.4
16	17	松本土建(株)	松本市	5	11,608	22.9
17	30	飯島建設(株)	長野市	5	11,363	77.5
18	20	(株)アルプスピアホーム	松本市	3	10,767	23.2
19	21	笹沢建設(株)	軽井沢町	12	10,696	22.8
20	15	(株)岩野商会	長野市	7	10,565	▲ 7.6
21	16	北信土建(株)	長野市	6	9,959	▲ 6.6
22	-	(株)野村屋ホールディングス	上田市	12	9,028	114.2
23	25	(株)サンプロ	塩尻市	8	8,797	12.8
24	23	(株)フォレストコーポレーション	伊那市	12	8,506	7.2
25	-	(株)内田鉄工所	須坂市	10	8,060	134.6
26	27	木下建設(株)	飯田市	5	8,003	12.9
27	19	(株)青木鐵工所	長野市	4	8,001	▲ 11.9
28	22	(株)竹花組	佐久市	6	7,692	▲ 3.5
29	24	(株)新津組	小海町	3	7,583	▲ 3.7
30	-	ハシバテクノス(株)	松本市	3	7,381	23.3

〈ランキング表注〉

※このランキングは5月20日時点で判明したデータに基づいて作成した

※株主総会が終了していない企業の売上高は決算案である

※前年度30位圏外は順位を記載していない

※伸び率は百万円単位で算出した